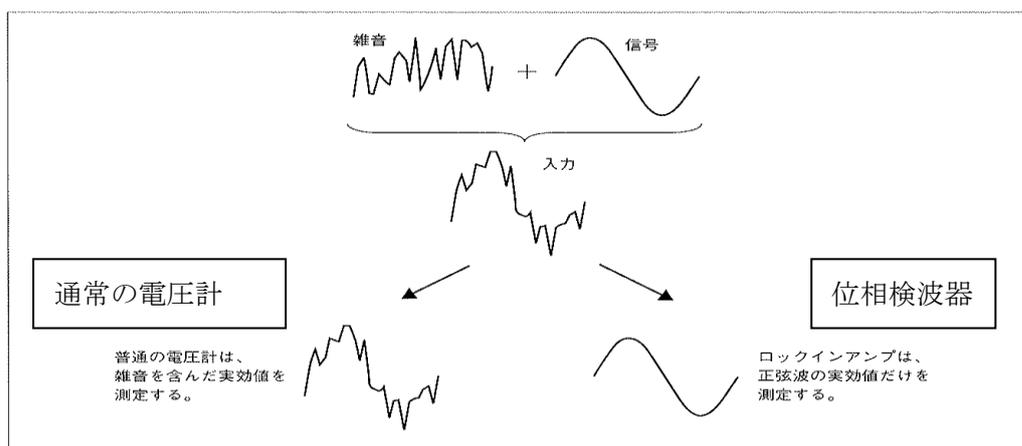


微小電圧が測定できるモジュール

CDシリーズのご紹介

信号がノイズに埋もれてしまうくらいの微小信号は通常の電圧計では計れません。

通常の電圧計と位相検波器での測定の違い



●CD シリーズ(位相検波器、電圧制御移相器)の特徴

- ・ノイズに埋もれた信号でも、特定の周波数成分を直流に変換して出力しますのでノイズの大小を問わずに「微小な変化を測定」ができます。
- ・「特定の位相成分の大きさを見る」こともできます。
- ・外形は、厳重に静電シールドされた 20 ピンのシングルインラインパッケージを採用 (CD-552R3、CD-552R4、CD-951V4 に採用)
- ・アプリケーションにより豊富な周辺機器、関連製品の選択ができます
 - 位相検波器、電圧制御移相器の直交位相検波の出力をベクトル計算する DSP を搭載したボード(As-902A ベクトル検波ボード)
 - ※スイッチとポテンショメータを併用して360° 位相調整が可能です。
 - 位相検波器、電圧制御移相器用、評価ボード(PA-001-1095~8)
 - 外付け抵抗や、半固定抵抗器で設定し、検波が可能なモジュール(CD-505R2)